

第48回 全国公民館研究集会
第65回 関東甲信越静公民館研究大会埼玉大会

次世代につなぐ 公民館の未来

公民館の新たなカタチへの挑戦

令和8年

10月1日(木)・2日(金)

会場 / ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17 TEL.049-249-3777
<https://www.westa-kawagoe.jp>

お問い合わせ ▶ 第48回全国公民館研究集会 第65回関東甲信越静公民館研究大会埼玉大会実行委員会事務局
埼玉県公民館連絡協議会 〒361-0032 埼玉県行田市佐間3-24-7 行田市教育文化センター「みらい」内
TEL.048-552-0291 FAX.048-553-5760 <http://www.tvg.ne.jp/saikoukyo>

第65回 第48回 全国公民館研究大会 埼玉大会

大会趣旨

公民館は、戦後我が国の復興再建への原動力となる住民自治を具現化する拠点として設置され、時代のニーズや社会の変化に対応しながら、「集う・学ぶ・結ぶ」をキーワードに掲げ、地域の人々の様々な学習活動を支援し、交流の場を提供するなど活力と潤いのある地域社会の実現に大きな役割を果たし、80年の歴史を刻んできました。

社会教育法が制定された昭和24年から公民館を取り巻く社会情勢は大きく様変わりしています。少子化・人口減少の深刻化、超高齢社会の進行、地域コミュニティ・交流の希薄化等に加え公民館施設の維持管理、運営上の課題も生じています。また、公民館に対する新たな期待も生まれ、公民館は様々な現代的課題に直面しています。

近年、人生100年時代を迎え、生き生きと活躍する社会を築いていくために、自らのスキルを伸ばすことに加え、子どもや若者、高齢者、障がいのある方や外国籍の方など、誰もが年齢・境遇を問わず学ぶことができ、一人ひとりが求める多様な学びを互いに尊重し合いながら地域社会の担い手を育み、地域コミュニティの基盤を安定させる地域づくりが重要であります。

また、デジタル技術の発展により、AI社会が到来し、パラダイムシフトが急速に進行する今、公民館に対する社会からの期待や要請に真摯に応えるため、私たちは、変化を嫌って慣れた状況に居座るのではなく、変化を恐れずに挑戦し、公民館の基本理念である「集う」と「学ぶ」、それらを通して「結ぶ」という機能の充実・強化に努めることが肝要だと考えます。

一方で、社会情勢が変化していく中でも、地域の行事や文化祭、講習会、サークル活動など、伝統的な公民館活動を通じて今なお「集う・学ぶ・結ぶ」の機能の充実・強化に寄与している取り組みもあり、それらは引き続き大切にしていきたいと考えます。

そのうえで、公民館の新たなカタチを展望し、地域の未来をつくる学びの拠点として「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に取り組み、全ての人が豊かな人生を送ることができるような、個々の関心やニーズにあった学びができる公民館の未来を創り出す一歩となる大会にしましょう。

プログラム

第1日

全体会 10月1日(木)

会場／ウェスタ川越(大ホール)

- オープニングアトラクション
- 文部科学省施策説明
- 基調講演

第2日

分科会 10月2日(金)

会場／ウェスタ川越(多目的ホール、南公民館)



ウェスタ川越

分科会名	研究課題
公民館における地域連携	学級・講座の開設、運営をはじめ、公民館活動の全体にわたって、地域住民や各種機関・団体との連携が必要である。学校や社会教育施設との連携をはじめ、民生担当部局・社会福祉協議会・青少年育成会等の関係団体及び民間企業との連携・協力等について考えます。
魅力ある公民館の取り組み	既存の事業の見直しを通じて、地域資源の再発見・地域人材の再発掘をし、地域等と連携することにより、充実した多世代間交流や一人ひとりが求める多様な学びに即した学級・講座や、伝統的な公民館活動において、今なお魅力的で人気のある学級・講座について考えます。
ICTを活用した公民館	新しい技術が学びの可能性を広げ、時間的・空間的制約を超えた学びや個々の習熟度や興味関心に応じた学びが求められています。デジタルリテラシーの向上により、スマホ講座やプログラミング講座等、また、オンラインによる研修や講座の取り組みを通して、地域住民とつながる公民館活動について考えます。
これからの公民館運営	指定管理者制度・コミュニティセンターへの移行、行財政改革など公民館を取り巻く諸問題を踏まえ、これからの公民館がその機能・役割をさらに発揮できる管理運営のあり方について考えます。